

第二十八回 鞆の浦 新春能楽祭

令和五年一月三日（火） 十二時始

沼名前神社能舞台 福山市鞆町

奉納番組

素謡

翁

翁

大島衣恵

千歳 大島文恵

女性組

地謡

仕舞

高砂

大島政允

仕舞

八島

大島輝久

女性組

仕舞

福山

キリ

大島伊織

*鑑賞無料です。

主催 福山喜多会

お問い合わせ

喜多流大島能楽堂

福山市光南町2-2-2

☎ 084-923-2633

www.noh-oshima.com

沼名前神社能舞台

（国の重要文化財）

豊臣秀吉が移動式能舞台として造った舞台です。

福山城築城時、徳川二代將軍・徳川秀忠より福山初代藩主・水野勝成が伏見櫓等と共に譲り受け、福山城内外にて演能に使用しました。三代目水野勝貞の時に沼名前神社に寄進され、固定舞台となり現在に至っています。

喜多流の流祖喜多七太夫は七才で豊臣秀吉の前で能を舞い、七太夫の名を拝領し、徳川二代將軍・徳川秀忠により喜多流は一流の樹立を許されました。

徳川幕府は能楽を式楽と定め、幕府や各藩内での重要な儀式には能楽を催しました。能楽は武士のみならず、庶民の間にも普及していきました。

福山喜多会・大島家では平成七年、大島壽太郎作の能「鞆浦」を約八十年ぶりに再演、石碑を再建して以来、毎年一月三日、能舞台での奉納を続けています。